

3 - 7 八王子 - 甲府間の上下変動

Vertical Movements between Hachioji and Kofu Cities

国土地理院 測地部 地殻活動調査室
Geodetic Division and Crustal
Activity Research Office,
Geographical Survey Institute

東京西方の八王子市から甲府市にかけての一等水準測量が、1972年5月～7月に実施された。

同地方の地震活動は1972年1月に上野原北方7km付近で $M = 4.8$ 、4月にも大月市近くの都留市東方10km付近で $M = 4.2$ 程度の有感地震がおきており、地殻変動で異常な地域を調べたところ、最近7年間（1972 - 1965）の上下変動では、甲府市付近の地盤沈下以外特に異常と見られる変動はない。

1931年から1965年にわたる大きい変動は1950年の測量の閉合差がわるいため見かけ上現われたと思われる。

1925年 - 1903年では、1923年の関東大地震のため甲府市に比べて上野原町で約50cmの沈下がみられる。笹子峠付近では、1895年 - 1884年において大きな沈下を示しており、1903年 - 1895年では隆起となっている。これは、標尺の誤差にしては大きいので注目する必要がある。なお、図中の黒丸は道路水準点による変動である。

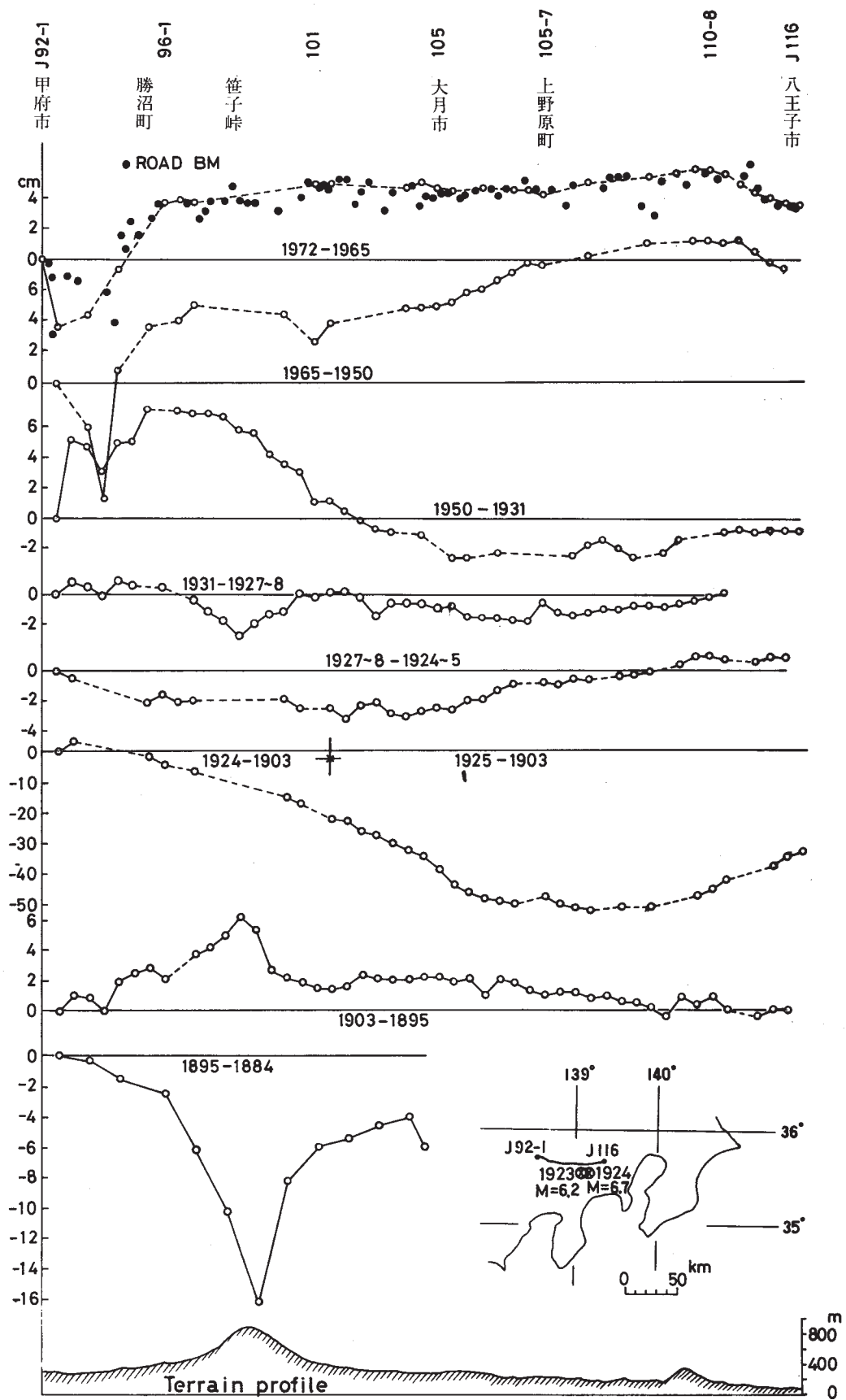


図1 八王子-甲府間の経年的上下変動

Fig. 1 Secular vertical movements between Hachioji and Kofu cities